

イーストスプリング・ アジア・オセアニア 好配当株式オープン (毎月分配型)

追加型投信／海外／株式

第114期(決算日 2015年10月14日)
 第115期(決算日 2015年11月16日)
 第116期(決算日 2015年12月14日)
 第117期(決算日 2016年1月14日)
 第118期(決算日 2016年2月15日)
 第119期(決算日 2016年3月14日)

作成対象期間(2015年9月15日～2016年3月14日)

第119期末(2016年3月14日)	
基準価額	6,900円
純資産総額	6,845百万円
第114期～第119期 (2015年9月15日～2016年3月14日)	
騰落率	△5.5%
分配金合計	120円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン(毎月分配型)」は、2016年3月14日に決算を行いました。

当ファンドは、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に実質的に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

当作成期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

基準価額等の推移について(第114期～第119期:2015年9月15日から2016年3月14日まで)



第114期首	7,430円
第119期末	6,900円(既払分配金120円)
騰落率	△5.5%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

当作成期初から2015年の年末にかけてアジア・オセアニア地域の株式市場、為替市場はともに米国の利上げ開始時期をめぐる憶測から神経質な展開が続きましたが、落ち着いた値幅での動きとなりました。2016年は年初から世界的なリスク回避姿勢を受けて株式市場は調整を余儀なくされ、円高も進行しました。3月には米国の利上げペース後退への期待や欧州中央銀行による予想よりも緩和的な金融政策スタンスが示されたことが好感されて株式市場は反発し、年初からの調整を相殺しました。しかしながら、米ドル安が進行したことでドル円は当作成期末に向けて小幅な動きに留まったことから、基準価額は年初からの下げを回復するに至りませんでした。

1万口当たりの費用明細

項目	第114期～第119期 2015/9/15 ～2016/3/14		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	61円	0.859%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、7,140円です。
(投信会社)	(32)	(0.446)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(27)	(0.376)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.038)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.037	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
(株式)	(3)	(0.037)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	2	0.034	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数
(株式)	(2)	(0.034)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	4	0.049	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.033)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(1)	(0.010)	目論見書及び運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	70	0.979	

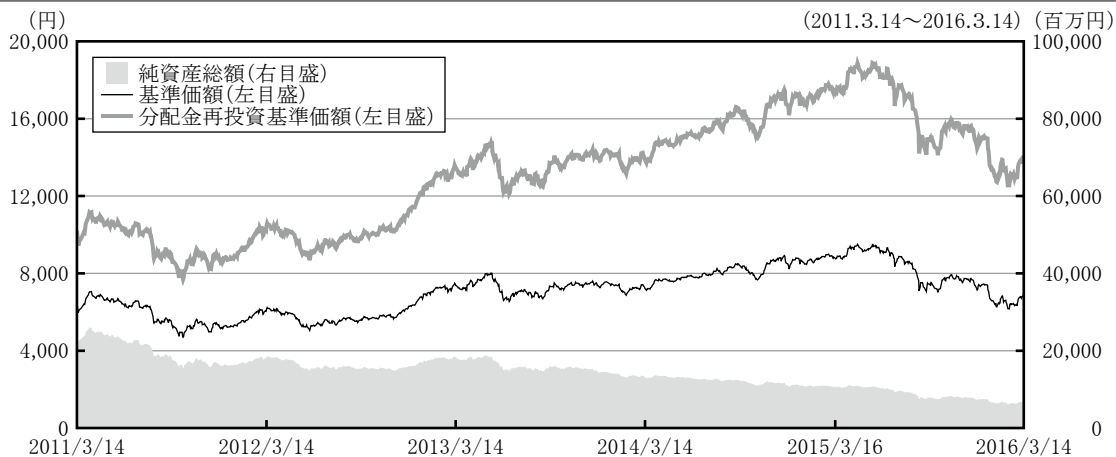
(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

決算日	2011/3/14	2012/3/14	2013/3/14	2014/3/14	2015/3/16	2016/3/14
基準価額 (円)	6,303	6,143	7,372	7,210	8,779	6,900
期間分配金合計(税込み) (円)	—	420	420	390	240	240
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	4.8	28.7	3.2	25.4	△18.9
純資産総額 (百万円)	23,627	18,358	18,214	13,080	10,580	6,845

投資環境について

○海外株式市況

アジア・オセアニア地域の株式市場は、当作成期初から2015年の米国の利上げ開始時期をめぐる憶測から神経質な展開となりました。2015年12月に米連邦公開市場委員会(FOMC)で利上げが発表されたあとは、声明文において利上げのペースが緩やかになるとの見方が示されたことも好感され、株価は反発しました。しかし、2016年年初から中国の景気減速および原油価格下落を受けた信用リスクの悪化、産油国の投資資金引き揚げなどの懸念が世界的なリスク回避姿勢を強める要因となり、株式市場は大幅な調整を余儀なくされました。その後、原油価格の反発などを好感して株式市場も上昇に転じる局面がみられました。3月には米国の利上げペース後退への期待や欧州中央銀行の緩和政策強化の決定などを受けて米ドル安が進行し、これまで米ドル高懸念で売られていた新興国や商品関連の資産において反発が見られ、アジア・オセアニア地域の株式市場も当作成期末に向けて上昇基調で推移しました。

○為替市況

アジア・オセアニア地域においては、多くの通貨が対米ドルで上昇しました。当作成期末にかけて原油価格が反発したことや先進国の景気減速懸念を背景に米国の利上げペースが緩やかになるとの見方が台頭したことなどを受けて、アセアン諸国通貨や豪ドルは対米ドルで上昇しました。一方、銀行株や信用格付けの高い社債の下落などを背景に、先進国経済に対する不透明感が増して世界的なリスク回避姿勢が強まったことから円高が進行し、多くのアジア・オセアニア地域の通貨は対円で下落しました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行いました。

○イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

主として、日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行い、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指した運用を行いました。当作成期中の投資行動では、バリュエーションが魅力的な水準にあり値上がり期待できる銘柄の中から、配当利回りが高い銘柄や特別配当金の支払いが期待できる銘柄などに注目し、市場平均を上回る平均配当利回りの水準を維持しました。

組入比率については、国・地域別では、中国(香港市場)、シンガポールなどを上げる一方、香港、マレーシアなどを下げました。セクター別では、情報技術や生活必需品などを上げる一方、金融などを下げました。パフォーマンスについては、国・地域別では、オーストラリア、韓国などがプラスに寄与する一方、中国(香港市場)などがマイナスに影響しました。セクター別では、情報技術などがプラスに寄与する一方、金融などがマイナスに影響しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

項目	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期
	2015年9月15日 ～2015年10月14日	2015年10月15日 ～2015年11月16日	2015年11月17日 ～2015年12月14日	2015年12月15日 ～2016年1月14日	2016年1月15日 ～2016年2月15日	2016年2月16日 ～2016年3月14日
当期分配金 (円)	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率) (%)	0.261	0.264	0.277	0.302	0.324	0.289
当期の収益 (円)	10	10	—	—	17	20
当期の収益以外 (円)	9	9	20	20	2	—
翌期繰越分配対象額 (円)	728	720	700	680	678	685

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○当ファンド

引き続き、イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド受益証券を高位に組入れることにより、信託財産の成長を図ることを目指します。

○イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

分散投資によりリスクの分散を図りながら、先進国と比較して相対的に高い経済成長が期待される、日本を除くアジア・オセアニア地域の株式へ投資を行います。今後とも、個別銘柄のキャッシュフローと配当の持続可能性に注目したリサーチを基に、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行う予定です。アジア・オセアニア地域の株式は足元の株価下落により、米国や欧州などの主要株式市場や過去との各比較においても割安度が高まっています。現在のように先行き不透明感を背景に市場がマクロ経済などのニュースに敏感に反応するような局面では、株価の短期的な動きにも耐えうる投資期間を設定し、ファンダメンタルズとバリュエーションを十分に見極めるという投資の基本に立ち返ることが重要と考えます。企業のファンダメンタルズと関係なく株価が変動する局面では、財務体質の強い銘柄への投資機会をうかがってまいります。

お知らせ

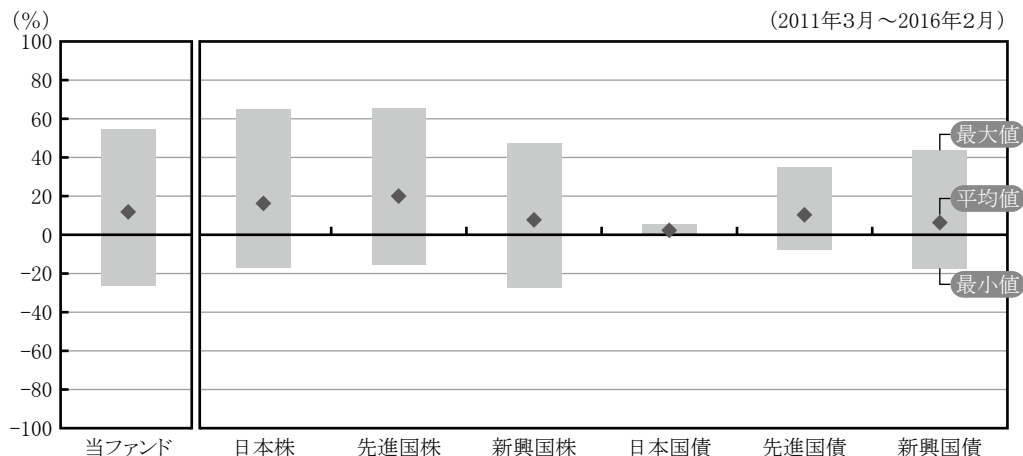
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2006年3月30日から2026年3月16日まで	
運用方針	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行い、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上り益の獲得を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン(毎月分配型)	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド	日本を除くアジア・オセアニア地域の株式を主要投資対象とします。
投資制限	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン(毎月分配型)	①外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ②株式への実質投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド	①外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ②株式への投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	毎決算時(毎月14日。休業日の場合は翌営業日。)に、主に配当等収益から安定的に分配を行うことを目指します。また、3月、6月、9月、12月の決算時には、配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等から、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	11.8	16.2	20.0	7.7	2.3	10.3	6.3
最大値	54.6	65.0	65.6	47.3	5.1	34.9	43.7
最小値	-26.4	-17.0	-15.7	-27.5	0.4	-7.5	-17.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2011年3月から2016年2月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<各資産クラスの指数>

日本株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株:MSCIロクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)

新興国株:MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債:NOMURA-BPI国債

先進国債:シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債:JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

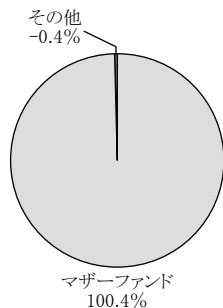
○組入ファンド

(組入銘柄数: 1銘柄)

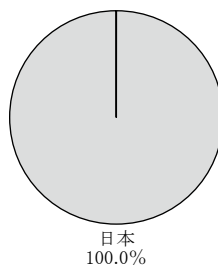
ファンド名	第119期末 2016年3月14日
イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド	100.4%

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

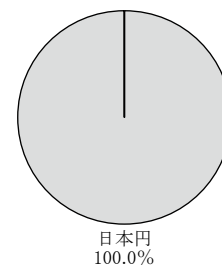
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 資産別配分において、未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第114期末 2015年10月14日	第115期末 2015年11月16日	第116期末 2015年12月14日	第117期末 2016年1月14日	第118期末 2016年2月15日	第119期末 2016年3月14日
純資産総額	7,995,982,803円	7,784,857,609円	7,311,480,579円	6,623,026,238円	6,160,328,819円	6,845,259,998円
受益権総口数	10,462,996,555口	10,320,080,361口	10,136,001,729口	10,046,711,347口	10,002,423,889口	9,921,252,412口
1万口当たり基準価額	7,642円	7,543円	7,213円	6,592円	6,159円	6,900円

* 当作成期中(第114期～第119期)において追加設定元本額は106,990,505円、一部解約元本額は714,469,927円です。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

(計算期間 2014年10月7日～2015年10月6日)

○基準価額の推移



○組入上位10銘柄

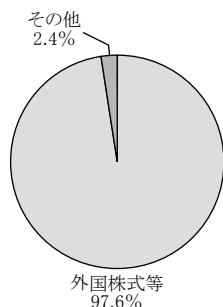
(組入銘柄数:75銘柄)

銘柄名	業種	国・地域	比率
China Construction Bank Corporation	銀行	香港	3.7%
Ind & Comm Bank of China	銀行	香港	3.5%
China Mobile Ltd	電気通信サービス	香港	3.3%
Westpac Banking Corporation	銀行	オーストラリア	3.3%
Bank of China Ltd	銀行	香港	3.1%
Taiwan Semiconductor Manufacturing	半導体・半導体製造装置	台湾	2.8%
Aust And Nz Banking Group Ltd	銀行	オーストラリア	2.5%
BHP Billiton Ltd	素材	オーストラリア	2.1%
CK Hutchison Holdings Ltd	資本財	香港	2.1%
Hutchison Port Holdings Trust	運輸	シンガポール	2.0%

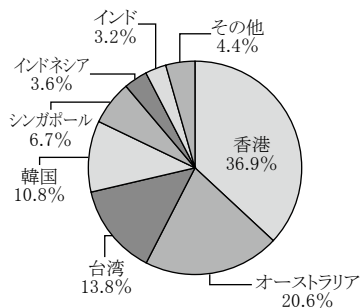
○1万口当たりの費用明細

項目	金額
(a)売買委託手数料 (株式) (新株予約権証券)	29円 (29) (0)
(b)有価証券取引税 (株式) (新株予約権証券)	14 (14) (0)
(c)その他費用 (保管費用) (その他)	28 (11) (17)
合計	71

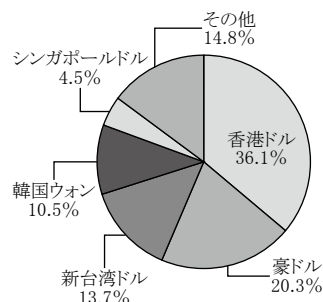
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。2ページの項目の概要および注記をご参照ください。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2015年10月6日現在のものです。

(注4) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

(注5) 組入上位10銘柄、国別配分の国・地域は、株式が上場されている主要な金融商品取引所の所在国・地域を記載しています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- 東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPIは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
- シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。